

### 地域のお宝箇所

スクラムネット観光部会から



個人宅。昔、火傷で亡くなった子どもがおり、その供養のため作られた地蔵堂です。地蔵堂の下の土で体を拭くと皮膚病が治るとい伝えがあります。学業や子どもにまつわる願い事など御利益があるといわれ、参拝者が絶えません。色とりどりの頭巾や前掛けをまとったお地蔵様は、今日も優しく子どもたちを見守っています。  
(事務局：渡辺仁美)

### 操法競技会に参加して

塩野町消防団は 2 月から 4 か月間に渡り訓練を重ね 5/21 の競技会へ臨みました。結果は 5 チーム中 4 位と非常に悔しく残念ではありましたが訓練の過程で幹部・各部長をはじめとする塩野町地域消防団の結束を更に強めることが出来たと実感しております。来年は大須戸消防団が出場します。塩野町のリベンジを果たしてくれることを期待します！



寄稿：小田 直明さん

### 編集後記

4月15日にみどりの里食堂で、まち協定期総会が行われました。今年で6年目を迎える塩野町地域まちづくり協議会ですが、今回の紙面でもお知らせしたとおり、まちづくり計画の変更についてを含めた3議案が承認されました。地域の皆様のご協力をいただきながら、今年度の本格的な活動が始まりました。ご期待してください。  
(蒲萄 菅原 明)



発行：塩野町地域まちづくり協議会  
編集：ほっとニュースステーション  
連絡先：朝日支所地域振興課自治振興室(事務局)  
TEL 72-6881 FAX 72-0328  
E-mail as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp  
URL(ホームページ) http://www.city.murakami.lg.jp

### Q&Aによるリレー人物紹介 まちづくりの輪 Vol.9



とがし れいこ  
富樫 礼子さん (早稲田)

- Q①趣味は？ → A①晴れた日のお洗濯
- Q②地区の魅力は？ → A②保護者が子どもの教育や行事に熱心なところ
- Q③好きなテレビ番組 → A③鉄腕 DASH の 0 円食堂
- Q④好きな食べ物 → A④ピザ・グラタンなどのチーズ料理
- Q⑤日々心掛けていること → A⑤健康でいること
- Q⑥バトンを渡す次の人は？ → A⑥小須戸の富樫稔さん

### 季節の1コマ

塩野町小学校の児童が、学校田の田植えを行いました。  
(協力：早稲田農家組合の皆さん、ほか)



### あさひフォトコンテストを開催します！

朝日地区の自然・風景・暮らしなどをテーマに、フォトコンテストを開催します。  
応募期間：平成 29 年 7 月 3 日～ 8 月 31 日まで  
※応募作品は平成 27 年 7 月 1 日以降に朝日地区内で撮影された自作品で未発表のものとしします。

詳しくは、塩野町地域まちづくり協議会のHPで。  
<http://www.city.murakami.lg.jp/site/shionomachi/>  
こちらのQRコードからもアクセスできます。ほかにも地域の話題を載せていますので、ぜひチェックを！



### ～協議会の理念～

交流と助け合いを通じて、  
いつまでも住み続けられる  
固有の環境を整える

第21号 平成 29 年 (2017 年) 6 月 15 日発行

### 平成29年度塩野町地域まちづくり協議会定期総会が開催されました。

4月15日土曜日、午後5時より、みどりの里食堂において、平成29年度塩野町地域まちづくり協議会定期総会が開催されました。来賓に、渡辺昌市市議会議員、新しく赴任された塩野町小学校の北原利章校長にお越しいただき、各集落からお集まりいただいた代議員の皆様、平成28年度の事業について報告を行い、そして平成29年度事業計画・予算についておはかりしました。審議の結果、すべての議案が原案どおり、承認されました。



### 地域の行事

- 7月
  - 7日・猿沢保育園七夕集会(塩野町和やかサロンへ参加)
  - 14日・早稲田神楽(天王様)子どもみこし
  - 15日・原小須戸・本小須戸神楽
  - 23・24日・お地蔵様参り
- 8月
  - 14日・子どもみこし・盆踊り(塩野町)
    - ・ニジマスのつかみどり大会(松園)
    - ・そうめん流し(原小須戸公民館)
    - ・大花火大会(小須戸ふれあいセンター)
    - ・カラオケ・盆踊り(大須戸東泉寺)
    - ・仮装盆踊り大会(蒲萄スキー場駐車場)
  - 15日・大須戸能薪能(みどりの里)
    - ・奉納花相撲大会(早稲田白山神社)
    - ・仮装盆踊り大会(早稲田常林寺)
  - 16日・奉納花相撲大会(大須戸八坂神社)
- 9月
  - 9日・小学校PTA整備登山(新保岳)
  - 10日・塩野町敬老会(後楽会館)
  - 21日・猿沢保育園運動会
  - 20日・塩野町小学校新保岳登山、池の平遠足(予備日22日)
  - 23日・蒲萄大運動会(蒲萄グラウンド)
    - 中旬・早稲田・大須戸・原小須戸の各集落で敬老会予定

※開催時間などは、各集落まちづくり役員にお問い合わせ願います。

総会の冒頭には、着任して1年を迎えた地域おこし協力隊の高橋直人隊員による活動内容のライド投影も行われ、参加者の方々は興味深げにスクリーンを見つめていました。  
平成28年度は、まちづくり協議会が設立してから5年目という節目の年であり、設立当初に掲げた「まちづくり計画書」の見直しを行ったことも報告されました。  
春を迎え、新しくなった計画とともに、新しい季節へ。塩野町地域まちづくり協議会の一年が、またスタートしました。



地域外転出者へ通信を送付いたします。  
地域外へ転出された塩野町地域内出身者で、ご希望の方に当通信を送付します。ご親戚・ご友人など送付のご用命の方は、協議会役員または事務局にご連絡をお願いいたします。

★今年の塩野町小学校の桜です。昼休み、子どもたちが気持ちよさそうに花の下で遊んでいました。



まちづくり  
計画書  
ってなに？

まちづくり協議会設立の際に、各集落から推薦されたまちづくり設立準備会委員が作成した向こう10年間の計画書です。

「交流と助け合いを通じて、いつまでも住み続けられる固有の環境を整える」という理念の下に、基本方針とそのため具体的な取り組みについて策定しています。

これまでの計画（修正前）

基本方針	取組みの方向性や実施する事業
農業環境を整備して新たな交流を生み出し、後継者育成と市場の拡大を図る  (あぐり部会)	地域農産物の品質の向上やブランド化を図る。
	協働で行う農業の在り方について考える場や組織をつくる。
	収穫された農作物をアピールするイベントを開催する。
	農産物や山菜を扱う販売店を設置する。
地域住民が繋がりを生み出し、後継者育成と市場の拡大を図る  (ふれあい部会)	休耕地の利活用を図る。
	地域全体で住民同士が交流する行事を新たに開催する。
	集落行事を地域全体で盛り立てる仕組みをつくる。
塩野町の食文化を伝承する取り組みを行う。  (ふれあい部会)	塩野町の食文化を伝承する取り組みを行う。
	観光資源を生かすための整備を行う。
	ボランティア組織を立ち上げ、相互扶助を推進強化する。
新たな組織をつくり、相互扶助の強化と、環境観光整備を行う  (スクラム部会)	組織を立ち上げ、環境美化活動を行う。
	地域を支える人材を育てる。
	地域情報を掲載した印刷物をつくる。
情報受発信の仕組みを強化し、地域振興につなげる  (ほっと部会)	情報の受発信を的確に行って、地域振興につなげる。



# まちづくり計画書の見直しを行いました

設立から5年が経過し、10年計画の折り返し地点ということで、協議会ではまちづくり計画書の見直しを行いました。昨年の11月末から作業に入り、以下のように計画書を修正し、総会にて承認されましたので、ご報告いたします。

新しい計画（修正後） ※変更箇所は赤字部分

基本方針	取組みの方向性や実施する事業	事業名
地元の農産物を生かし、地域住民が繋がりを生み出し、後継者育成と市場の拡大を図る  (あぐりふれあい部会)	地域農産物を流通させるしくみを作る。	まちづくりコロッケ
	地域の農作物を味わう催しを開催する。	秋の大収穫祭
	地域内で地場農産物などを販売・購入する機会・場を提供する。	買い物困難者対策の検討
	地域おこし協力隊とも連携し、世代や集落を越えた地域全体の交流を促し、つながりを深める。	秋の大収穫祭 学校行事支援（地域民登山・スノーフェス・スキー・森林）
塩野町の食文化を伝承する取り組みを行う。  (スクラム部会)	塩野町の食文化を伝承する取り組みを行う。	レシピ収集・冊子編集 伝統料理コンクール
	お宝マップを活用し、地域資源を生かすための取り組みを行う。	お宝探し集落散策親子行事など
	地域を支える人材を育成し、相互扶助及び小規模多機能自治を推進強化する。	ボランティア組織・人材育成
環境美化活動を行う。  (スクラム部会)	環境美化活動を行う。	お宝案内看板設置・環境美化
	地域情報を掲載した印刷物をつくる。	まちづくり通信発行
	まちづくりに関する学習機会や情報を提供し、地域振興につなげる。	先進地視察・まちづくり講演会
協議会の取り組みを広く周知し、情報受発信の仕組みを強化し、地域振興につなげる  (ほっと部会)	集落行事を地域全体で盛り立てる仕組みをつくる。	集落活性化支援事業

それで、何がどう変わったの？

まちづくり協議会の活動実態や、人口の減少・高齢化、空き家の増加…などのこれからの地域を取り巻く環境をふまえ、これから地域で必要になってくるもの、今の活動を活かしてさらに力を入れていくものを検討し、計画書に反映しました。



たとえば…

- 車の運転を控える年代が増えることを見据え、農産物や日用品を地域で販売・購入できる機会の提供を検討してゆきます。



注連縄作り（荒沢）

- 小学校閉校後も、地域の子供と大人が交流する機会として「新保岳登山」や「スノーフェスティバル」などの、これまでまち協や地域の人も参加して行ってきた小学校行事を「地域の行事」として実施することを検討します。



小学校田植え（松岡地内）

- 新たな伝承の掘り起こしや、地域への愛着を深めるため、また、多くの世代で交流できるよう、完成するお宝マップを活用し、「お宝探し集落散策（仮）」を実施します。



漆山神社（蒲萄）

- お互いに助け合い、地域自らが地域のニーズに合った自治の仕組みをつくるという「小規模多機能自治」の考え方を推進強化するため、まちづくり協議会の認知度を上げ、世代を超えて参画できるよう、働きかけをします。



地域の茶の間（塩野町）

…といったことを新たに盛り込みました。

この地域に住まう人が元気で、毎日の暮らしを営んでいくためには、世代を超えてつながっていくことが大切です。住民一人ひとりが参画・協働し、自分たちの地域課題に取り組む仕組みづくり、いわゆる「小規模多機能自治」の考え方を取り入れることの重要性を認識し、地域のつながりをさらに深めることを目指しながら、協議会は事業を展開していきます。



子どもみこし（早稲田）

二つとない私たちの地域を、みんなが住みやすいふるさとにするために。後に続く子どもたちのために。

